

1865年のロッシェニの肖像(リトグラフ)

(水谷彰良コレクションより)

1865年のロッシェニの肖像(リトグラフ)

これは筆者所蔵の《小ミサ・ソレムニス》初版ピアノ伴奏譜 (G.Brandus et S.Dufour,Paris,s.d.[1869]) に挿入されたロッシェニの肖像画で、卵型の肖像の左に「E. DESMAISONS / LITH. 1865」、下部に「E. Desmaisons, Lith」、続いて中央に「ROSSINI」「(1865)」、その下左に「Imp. Lemercier et C.^{ie} Paris」。右にロッシェニの署名の複製を配している。以上の記載から、原画をピエール=エミール・デメゾン (Pierre-Émile Desmaisons,1812-80) が描き、パリのルメルシエ社の制作したリトグラフと判る。

より大きなサイズのリトグラフも制作されているが (例、フランス国立図書館所蔵は 53×38 cm)、卵型のレイアウトではなく、肖像部分を卵型にしたそれはパリのブランデュ&デュフル社が (G.Brandus et S.Dufour) が 1867年に音楽新聞『La Revue et Gazette Musicale』の付録用にルメルシエ社に依頼した可能性がある。《小ミサ・ソレムニス》初版ピアノ伴奏譜のそれは、このブランデュ&デュフル社用が原版と思われる、筆者所蔵のサイズは 28.5×20cm。ロッシェニの表情が魅力的で、ロッシェニ自身も 1866年にルメルシエ社のリトグラフを贈り物としている (ロッシェニ自筆で「1866年7月4日」の日付と署名、献辞を記したアイテムが確認できる)。



1865年のロッシェニの肖像(リトグラフ。筆者所蔵)